

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								2.7
1 音環境		1.8	0.15					1.8
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		1.0	0.40					
1 開口部遮音性能		1.0	1.00					
2 界壁遮音性能		-	-					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-					
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		2.0	0.35					2.0
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.46					
2 外皮性能		3.0	0.20					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.35					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		1.0	0.30					
3 光・視環境		3.0	0.25					3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.51					
1 昼光率		-	-					
2 方位別開口		-	-					
3 昼光利用設備		3.0	1.00					
3.2 グレア対策		-	-					
1 昼光制御		-	-					
3.3 照度		-	-					
3.4 照明制御		3.0	0.49					
4 空気環境		4.2	0.25					4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆または規制対象外の建材を採用	5.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.50					
2 自然換気性能		-	-					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50					
4.3 運用管理		4.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	全館を原則禁煙とし、喫煙室を1・2階に設置	5.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.2
1 機能性		3.1	0.40					3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性		-	-					
2 高度情報通信設備対応		-	-					
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		2.0	0.30					
1 広さ感・景観		3.0	0.33					
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		4.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	内外装材へ基本的なメンテナンス性を配慮	4.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	点検口600×600、トイレ毎に清掃用流しの設置	5.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30					3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:HIVP、排水:FDP、空調:VP	4.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性	1 空調・換気設備	災害時の被害最小化、適正な運転制御	3.3	0.20	-	-
	2 給排水・衛生設備		4.7	0.20		
	3 電気設備		3.0	0.20		
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		
	5 通信・情報設備		3.0	0.20		
	3 対応性・更新性		3.4	0.30		
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	各階の階高のレベルの加重平均値: 4.13 2階の壁長さ比率: 0.054	4.4	0.30	-	-
	2 空間の形状・自由さ		4.0	0.60		
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.40	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.30	-	-
3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性		3.0	0.40	-	-
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.33	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	隣接する松尾川緑道との一体感を持たせた外構計画		4.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.794		5.0	0.14	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.11	-	3.0
3 設備システムの高効率化	BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.83		3.2	0.53	-	3.2
集合住宅以外の評価(3a.3b)	LED照明の採用		3.2	1.00	-	-
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.21	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	3.4
1 水資源保護			3.8	0.20	-	3.8
1.1 節水	節水型便器など省水機器の採用		4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用槽の設置		4.0	0.70	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.22	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.22	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	乾式間仕切り、明確な設備ルートの確保		5.0	0.22	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-
1 消火剤	第三種粉末消火剤		4.0	0.33	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-	-
3 冷媒			3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	3.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-
2 振動			-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制			-	-	-	-
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策チェックラインの過半を満たしている		4.0	0.70	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-